

平成 25 年度 財政状況のあらまし

市では、市民の皆さんに市の財政をどのように運営しているのかをお知らせするため、財政状況を年 2 回公表しています。今回は、平成 25 年度下半期（平成 26 年 5 月 31 日現在）及び、平成 25 年度決算の状況をお知らせします。

一般会計における平成 25 年度下半期（平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月）の財政状況については、この間に 4 回の補正予算を行い、予算額を 32 億 8531 万円増額しました。この補正予算の主なものは、都市計画道路 3・3・23 号線事業、公園トイレ及び多目的広場の設置、認可外保育施設助成事業、認可保育園に対する施設整備補助、緊急待機児童対策事業、都知事選挙、基金への積立金などで、最終の予算額は 616 億 6736 万円となりました。

下半期における歳入は、平成 25 年度の歳入額全体の 51%に相当する 317 億 5085 万円となり、歳出は全体の 66%に相当する 393 億 7772 万円となりました。

平成 25 年度一般会計決算は、予算現額 616 億 6736 万円に対し、歳入決算額は、623 億 2746 万円、収入率は 101.07%となり、また、歳出決算額は 598 億 3846 万円、執行率 97.03%となりました。翌年度への繰越金は、繰越明許費等を除き、24 億 1427 万円となりました。

一般会計と特別会計を合わせた市債（借入金）残高は前年度と比べ 4 億 627 万円の増となりましたが、基金（預金）は前年度と比べ 23 億 7904 万円の増となりました。

一般会計、特別会計、水道事業会計の執行状況、基金（預金）および市債（借入金）の現在高、市有財産の状況などは以下のとおりです。

○一般会計の執行状況

<歳入>

前年度比では転入者の増加などによる個人市民税の増や法人市民税の増により、市税全体で 1.6%の増となりました。また、地方消費税交付金や国庫支出金等の増により、歳入総額では 35 億 934 万円、6%の増となりました。執行状況は下表のとおりです。

(単位：万円)

区分 款	平成 24 年度 決算額	当初予算額	予算現額	収入済額		決算額 上半期+下半期	収入率
				上半期	下半期		
市税	369 億 15	364 億 726	372 億 6126	212 億 7937	162 億 2280	375 億 217	100.65%
国庫支出金	63 億 8630	77 億 9281	78 億 1662	26 億 6232	50 億 1438	76 億 7670	98.21%
都支出金	49 億 4984	47 億 6435	53 億 3491	10 億 683	43 億 5022	53 億 5705	100.42%
繰越金	31 億 4747	7 億	30 億 3310	30 億 3310	0	30 億 3310	100.00%
繰入金	16 億 1301	22 億 2163	20 億 6225	600	20 億 4410	20 億 5010	99.41%
地方消費税交付金	17 億 6213	16 億 7000	16 億 7000	10 億 1326	7 億 3385	17 億 4711	104.62%
使用料及び手数料	14 億 5668	15 億 1680	15 億 2460	8 億 2281	7 億 2042	15 億 4323	101.22%
市債	5 億 550	11 億 6780	10 億 7060	0	10 億 5380	10 億 5380	98.43%
その他	20 億 9704	15 億 4935	18 億 9402	7 億 5292	16 億 1128	23 億 6420	124.82%
歳入合計	588 億 1812	577 億 9000	616 億 6736	305 億 7661	317 億 5085	623 億 2746	101.07%

<歳出>

歳出を目的別分類で見ると、前年度比では総務費や公債費の減はあるものの、新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業による衛生費の増や吉祥寺駅改良整備事業などによる土木費の増、保育園待機児童対策による民生費の増となりました。歳出総額で前年度比 40 億 5345 万円、7.3%の増となりました。執行状況は下表のとおりです。

（単位：万円）

区分 款	平成 24 年度	当初予算額	予算現額	支出済額		決算額 上半期+下半期	執行率
	決算額			上半期	下半期		
民生費	218 億 9762	233 億 3379	231 億 3547	86 億 7629	136 億 6064	223 億 3693	96.55%
総務費	98 億 2840	80 億 7558	97 億 5412	30 億 321	65 億 1102	95 億 1423	97.54%
土木費	66 億 5644	83 億 4815	90 億 1676	12 億 7839	74 億 6356	87 億 4195	96.95%
教育費	63 億 3732	63 億 6262	84 億 200	30 億 6546	50 億 9204	81 億 5750	97.09%
衛生費	52 億 9014	56 億 8526	55 億 6584	19 億 1905	35 億 2721	54 億 4626	97.85%
公債費	26 億 2208	24 億 8177	24 億 6344	10 億 6414	13 億 9914	24 億 6328	99.99%
その他	31 億 5301	35 億 283	33 億 2973	14 億 5420	17 億 2411	31 億 7831	95.45%
歳出合計	557 億 8501	577 億 9000	616 億 6736	204 億 6074	393 億 7772	598 億 3846	97.03%

（注）歳入・歳出の各項目は、四捨五入処理し、万円単位で表記しているため、千円単位で表記されている額と%数値が一致しない場合があります。

○市民 1 人当たりの市税負担状況

平成 25 年度市税収入額（375 億 217 万円）を人口 14 万 1,584 人（平成 26 年 3 月末）で割ると、1 人当たりの市税負担額は、26 万 4876 円になります。この市税負担額に、支出済額の目的別の割合をかけると、どの目的にいくら活用されたかが分かります。

目的	金額	内容
民生費	9 万 8799 円	社会福祉、高齢者福祉、児童福祉等の経費、保育園や福祉施設等の管理運営など
総務費	4 万 2115 円	企画、財務、課税、統計、住民票・戸籍等の管理経費、庁舎の維持管理・人件費など
土木費	3 万 8672 円	道路・公園の整備・維持管理や計画的なまちづくりに要する経費など
教育費	3 万 6023 円	市立小・中学校の管理運営、図書館・武蔵野プレイス・総合体育館などの管理運営など
衛生費	2 万 4104 円	各種検診や予防接種等の保健・医療・健康づくり事業、ごみの収集・処理、公害対策など
公債費	1 万 860 円	市の借入金（市債）の償還（返済）に要する経費
消防費	9271 円	消防事務、消防団などの活動、災害対策に要する経費など
その他	5032 円	市議会の運営、地域産業の振興、勤労者対策、農業の振興など
計	26 万 4876 円	

○特別会計の執行状況

特別会計とは、特定の事業を行うため、または特定の収入をもってその支出に充てるために設けられる会計です。

<歳入>

(単位：万円)

	平成24年度	当初予算	予算現額	収入済額		決算額 上+下半期	執行率
	決算額			上半期	下半期		
下水道事業会計	35億7794	66億2203	69億3767	4億6527	46億4058	51億585	73.60%
国民健康保険事業会計	124億8404	126億7076	127億893	49億9539	76億5140	126億4679	99.51%
後期高齢者医療会計	30億4616	31億6075	30億8480	8億940	22億6867	30億7807	99.78%
介護保険事業会計	95億7582	99億7025	99億2467	40億733	58億9404	99億137	99.77%

<歳出>

(単位：万円)

	平成24年度	当初予算	予算現額	支出済額		決算額 上+下半期	執行率
	決算額			上半期	下半期		
下水道事業会計	35億6864	66億2203	69億3767	7億9424	41億1756	49億1180	70.80%
国民健康保険事業会計	123億3593	126億7076	127億893	51億3389	72億9577	124億2966	97.80%
後期高齢者医療会計	30億3758	31億6075	30億8480	9億7900	20億9208	30億7108	99.56%
介護保険事業会計	94億1028	99億7025	99億2467	41億4975	55億3235	96億8210	97.56%

○水道事業会計の執行状況

水道事業会計は地方公営企業法に基づく決算であり、独立採算性をとっています。

(単位：万円)

	収入			支出			差引額
	上半期	下半期	計	上半期	下半期	計	収入-支出
収益的収支	13億8124	51億8945	65億7069	10億9738	61億6473	72億6211	△6億9142
資本的収支	0	1693	1693	2億4621	7億5052	9億9673	△9億7980

○基金(積立金)の現在高

公共施設や公園の整備・更新などの財源として活用するため、公共施設整備基金や公園緑化基金などの積み立てや取崩しを行っています。平成 25 年度は新たに下水道事業基金を設置しました。

基金名		平成 24 年度末 現在高	平成 25 年度上半期 現在高	平成 25 年度末 現在高	
一 般 会 計	財政調整基金	60 億 8913 万円	60 億 62 万円	60 億 9171 万円	
	特定 目的 基金	公共施設整備基金	108 億 3776 万円	108 億 3776 万円	119 億 7790 万円
		学校施設整備基金	72 億 5317 万円	71 億 3317 万円	89 億 652 万円
		吉祥寺まちづくり基金	32 億 785 万円	32 億 785 万円	32 億 462 万円
		公園緑化基金	41 億 9285 万円	41 億 9285 万円	42 億 1064 万円
		その他の特定目的基金	18 億 7080 万円	18 億 7080 万円	14 億 6355 万円
介護給付費等準備基金		3 億 7191 万円	3 億 7191 万円	3 億 839 万円	
下水道事業基金		—	—	3918 万円	
合 計		338 億 2347 万円	336 億 1496 万円	362 億 251 万円	

平成 25 年度末市民 1 人当たりの基金残高

一般会計分 25 万 3241 円、合計（特別会計分含む）25 万 5696 円

○市債(借入金)の現在高

道路や公園、学校など長年にわたり使用する施設の建設費や土地購入費の資金を借り入れ、毎年公債費として返済をしています。多額な支出による財政負担を年度間で平準化することと、将来の市民にも公平に費用を負担していただくための制度です。

会計名	平成 24 年度末 現在高	平成 25 年度上半期 現在高	平成 25 年度末 現在高
一般会計	203 億 7253 万円	205 億 1149 万円	192 億 5608 万円
下水道事業会計	49 億 4468 万円	65 億 4878 万円	64 億 6740 万円
合計	253 億 1721 万円	270 億 6027 万円	257 億 2348 万円

平成 25 年度末市民 1 人当たりの市債残高

一般会計分 13 万 6004 円、合計（下水道事業会計分含む）18 万 1,684 円

○市有財産の現在高

市有財産		平成 24 年度末 現在高	平成 25 年度末 現在高
不動産	土地	59 万 4025 ㎡	59 万 7433 ㎡
	建物	33 万 614 ㎡	32 万 8956 ㎡
有価証券	有価証券	3950 万円	4150 万円
	出資証券	105 万円	5 万円
物品 (取得価格 50 万円以上)	車両	130 台	129 台
	備品	709 点	708 点
その他	立木	2189 本	2189 本
	プール施設	19 カ所	19 カ所
	防火水槽	265 カ所	269 カ所
	公共下水道	25 万 4087m	25 万 4487m

○財政指標

①財政力指数

財政基盤の強さを示す指標です。指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い団体であり、1 を超えている自治体は普通交付税の交付対象外です。

②経常収支比率

財政構造の弾力性を示します。毎年経常的に発生する人件費、扶助費、公債費などの義務的経費に対し、市税などの一般財源がどのくらい使われているかを表します。70～80%が望ましく、90%を超えると財政が硬直化し、新たな行政サービスへの対応が困難になるとされています。

③公債費比率

一般財源のうち市債の返済に充てられる割合を示すもので、10%を超えないことが望ましいとされています。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
①財政力指数(3年平均)	1.48	1.43	1.41
②経常収支比率(%)	86.2	88.8	87.0
③公債費比率(%)	1.5	1.3	0.6

○平成 25 年度に実施した主要な事業

第五期長期計画に基づき平成 25 年度に実施した主な事業は以下のとおりです。計画の施策の体系にそって記載しています。

I 健康・福祉

- ・障害への理解を促す心のバリアフリー事業
- ・成年後見制度の利用促進などの権利擁護事業
- ・地域生活に関わるあらゆる組織・人の連携による地域リハビリテーションの推進

- ・認知症高齢者支援事業
- ・障害者へのアンケートなどによる実態調査
- ・障害者への相談支援体制の強化
- ・障害者グループホーム開設などの給付事業（きたまちはうすの開設など）
- ・未熟児の入院養育への医療費給付事業
- ・予防接種事業（ヒブ・小児肺炎球菌のワクチン接種などへの助成）
- ・介護保険利用者負担額助成事業
- ・通所サービス利用者食費助成事業

II 子ども・教育

- ・第四次子どもプラン武蔵野の検討
- ・子ども家庭支援センター事業（相談、ショートステイなど）
- ・乳幼児、義務教育就学児、ひとり親家庭への医療費助成
- ・私立幼稚園等助成事業
- ・認可外保育施設入所児童保護者助成金の充実
- ・認証保育所2園の開園
- ・子ども協会立保育園の運営および境こども園開設に対する補助
- ・賃貸物件活用グループ保育2園の開設
- ・児童館を活用した緊急待機児童対策事業
- ・子育て支援事業、ひとり親支援事業
- ・地域子ども館事業
- ・学童クラブ事業
- ・子ども文化・スポーツ体験活動事業
- ・泉幼稚園跡地利用施設「すくすく泉」の建設
- ・校舎・体育館非構造部材耐震化工事（天井材の更新など）
- ・小中学校へのICT機器の増設や無線LAN環境の再構築
- ・教育相談事業（不登校対策の推進）
- ・特別支援学級の運営（情緒障害等通級指導学級の新設など）

III 文化・市民生活

- ・地域のつながりの共有とコミュニティセンターの機能の検討
- ・平和啓発事業
- ・市民文化会館改修基本計画の策定
- ・歴史資料館（仮称）の整備
- ・観光推進事業
- ・国体・障害者スポーツ大会推進事業
- ・産業振興に関する方針の策定
- ・小規模企業者への利子補給等補助事業
- ・商店街装飾街路灯LED化事業
- ・商店街まちづくり事業
- ・都市農業経営パワーアップ事業
- ・市民農園維持管理事業
- ・新たな地域防災計画の推進
- ・災害時医療対策検討委員会の設置
- ・自主防災組織への支援（資機材などの支給・貸与）
- ・緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の助成

- ・防火水槽4基の新設
- ・災害用トイレの整備（三小、四小、千川小、二中）
- ・住宅の耐震性の相談・診断・改修助成
- ・生活安全対策（ホワイトイーグル、ブルーキャップ、ミッドナイトパトロール、市民安全パトロール隊）

IV緑・環境

- ・二酸化炭素排出削減行動助成事業
- ・多様な資源の効率的利用モデル検討
- ・太陽光発電システムの設置（一中）
- ・公園新設・拡充（吉祥寺の杜宮本小路公園、木の花小路公園、本田東公園など）
- ・水と緑のネットワーク計画の推進（千川上水整備事業、仙川水辺環境事業）
- ・新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業
- ・ごみ組成分析調査
- ・公衆トイレミカレット吉祥寺の設置
- ・道路の透水性舗装などによる環境舗装事業

V都市基盤

- ・建築物の高さの最高限度の導入
- ・景観まちづくりの展開
- ・都市計画道路7・6・1号線（御殿山通り）事業
- ・合流式下水道改善事業（吉祥寺東町一丁目、吉祥寺南町三丁目、三鷹市井の頭二丁目）
- ・雨水貯留浸透施設の設置（一中）
- ・雨水貯留施設の設置（北町保育園）
- ・女子大通り幹線管きょ更生工事
- ・連続立体交差事業
- ・吉祥寺駅南北自由通路および北口の歩行環境整備
- ・吉祥寺駅北口駅前広場の整備
- ・吉祥寺駅前高度利用商業地域リニューアルまちづくり基礎調査
- ・武鉄中付第1、第2、第3号線の整備（武蔵境駅北口周辺）
- ・都市計画道路3・3・23号線（武蔵境駅北口）事業
- ・武蔵境駅舎周辺環境整備
- ・上水道の耐震化などによる配水管網整備の推進
- ・浄水場および取水施設の改良工事

VI行・財政

- ・市ホームページのスマートフォン対応、動画チャンネルの開設、フェイスブックの運用など
- ・公共施設改良保全整備、劣化保全整備
- ・公共施設の再編の検討
- ・財政援助出資団体のあり方の検討

○参考資料

市の決算状況に関する資料は、随時市のホームページまたは市政資料コーナーで公表しています（決算書、決算参考資料、決算附属資料、実質収支に関する調書・財産に関する調書、年次財務報告書、決算カードなど）。